

私立大学情報教育協会
平成26年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

C2班 C2～ありのまま～

1

C2班C2～ありのまま～の紹介

現状の問題点を真摯に受け止める
ことで、教員・学生・職員それぞれの
理想のあり方を考える

2

発表テーマ

能動的な学生の育成

3

能動的な学生の育成

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

- ・学生の育成
⇒学生から社会人へ
- ・社会貢献
⇒社会に求められる力を身につけさせる。

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

- ・就職活動期間の短縮
⇒就活そのもののシステム再考。
- ・学生に様々な可能性を提示する
⇒目的意識を持たせる。
- ・能動的な授業提供
⇒高校からの延長上ではないことを認識させる。
課題発見及び課題解決能力を身につけさせる。

4

能動的な学生の育成

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

- ・社会のニーズと現状の大学就職活動状況に差がある
⇒就活の比重が大きすぎ、学業が疎かになってしまう傾向
- ・学生の目的意識の欠如
⇒卒業(単位取得)のために授業を受ける
- ・つめこみ型の授業
⇒グループワークの少ない講義形式授業。
発言のタイミングがない。教員が教え方を知らない。

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- ・自主的に学習できる環境の提供
⇒大学資源の有効活用
- ・教員・学生・職員相互のコミュニケーション基盤作り
⇒学内SNSのようなツールの提供(Facebookなど)

5

能動的な学生の育成

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

- ・受身の学生が多い
だから・・・
- ・社会貢献に結びつく人材育成を目指す。



学生が行動したくなる環境を提供し、能動的な学生を育成
することで、社会に貢献する

6

能動的な学生の育成

問題点の深堀

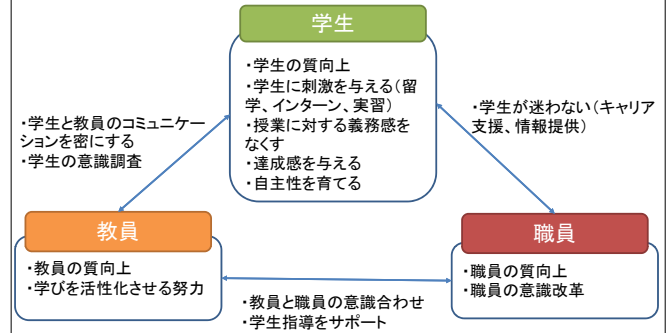
- ・能動的な学生とは・・・
自主性を持って行動することができる。
問題解決能力・課題発見能力
- ・現状は・・・
学校がつまらない。授業がおもしろくないなど授業形態の問題
教員と事務の連携不足の問題

能動的な学生を育成するためには、教員と職員も積極的に働きかける必要がある

7

能動的な学生の育成

解決策の検討



8

能動的な学生の育成

大学のイノベーションの提案

自分で行動しない学生が多い

学生が行動したくなる大学の環境を提供する

教員と職員が双方向から学生に刺激を与える

能動的な学生育成を実現！

9